

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

### ◆ 山間部のトンネルの出口に差しかかりました。

- 出口の先は右カーブの下り坂になっています。
- 前車が下り坂の手前で減速したのが見えます。
- 自車はこのまま進行したいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

## Q どのような危険がありますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 \_\_\_\_\_

1

.....

2

.....

3

.....

知ト  
予イ  
険ポ  
危

- ① トンネルの出口でスリップし、ガードレール等に衝突する。
- ② 下り坂でブレーキが効かなくなり、前車等に衝突する。

スリップに備え慎重に運転する

トンネルの出入口は、凍結しやすいため、そうした場所で安易にブレーキをかけると、スリップしてガードレール等に衝突する危険があります。

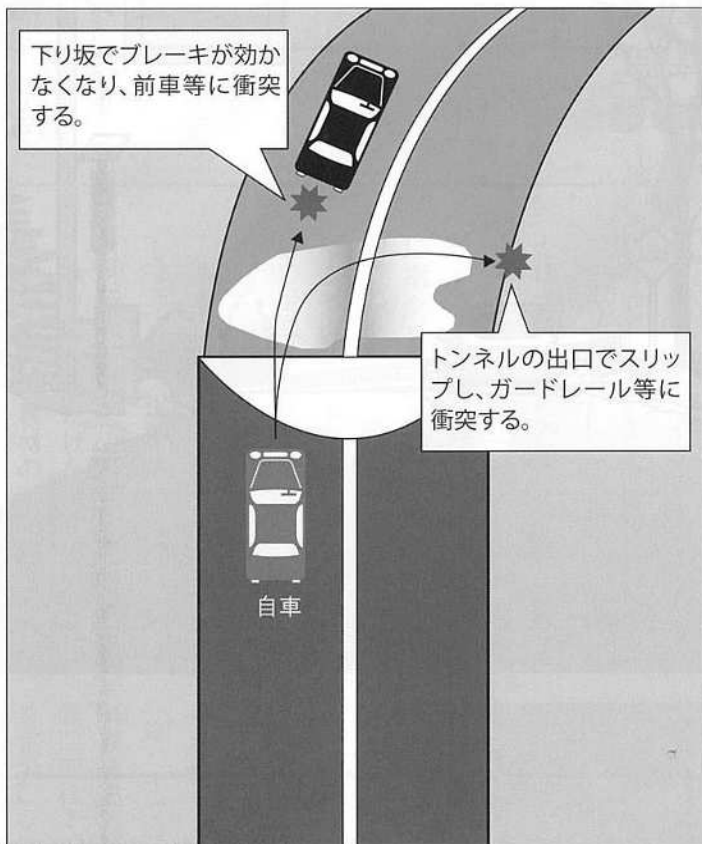
トンネルの出入口ではスリップに備え、あらかじめ減速し、慎重に走行しましょう。

また、橋の上や切り通し、山の陰といった場所も凍結していることを予測し、その手前ではスピードを落とし慎重に走行しましょう。

下り坂ではエンジンブレーキを活用する

長い下り坂でフットブレーキを多用すると、ブレーキが効かなくなり、前車に追突するなど事故の危険が高まります。

下り坂では、エンジンブレーキを活用しましょう。



トンネル出口ではスリップに注意

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々 KYTを行い、危険感受度を高めて防衛運転に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。